

新宿区「食品ロスダイアリー」モニター調査 簡易集計レポート

特定非営利活動法人ごみじゃぱん
2023年12月

I. レポートメモ

1. 対象者募集時の実施概要

「買ったことを忘れて、食品の賞味・消費期限が切れていた」
「料理を作りすぎて食べきれずに捨ててしまった」
そんな経験はありませんか？

新宿区では、家庭の中で食品ロスがなぜ、どのくらい発生しているのか実態を把握し、今後の削減対策などに活用するため、調査にご協力いただく区民モニターを募集いたします。

モニターの対象者には、「食品ロスダイアリー」を利用し、入力期間中、発生した食品ロスの情報を毎日入力していただきます。

記録方法は、「食品ロスダイアリー」のアプリによるオンライン入力または手書きです。

モニター参加決定者にはクオカード1,000円分を差し上げます。

※食品ロスダイアリーに27日以上記録し、ご提出いただいた方が対象

【食品ロスダイアリーとは】

「手つかずの食品」や「食べ残し」など家庭での食品廃棄の状況を日記形式で記録していくものです。

※利用するアプリは「NPO法人ごみじゃぱん」が開発したものです。

募集期間：令和5年7月18日（火）～8月31日（木）

募集人数：新宿区にお住まいの100名

※同一世帯からは1名限り

※応募者多数の場合は、通知の発送をもって決定

入力(記録)期間：令和5年10月1日（日）～10月31日（火）

2. 集計対象者の決定方法

応募のあった参加希望者は70人。
うちアプリ登録 32名 紙での記録 38名。

アプリに登録されていた32人の実施期間中のアクセス日数は下記の通りであり、27日（期間中の9割）以上アクセスのあった29人を当レポートでの集計対象とした。

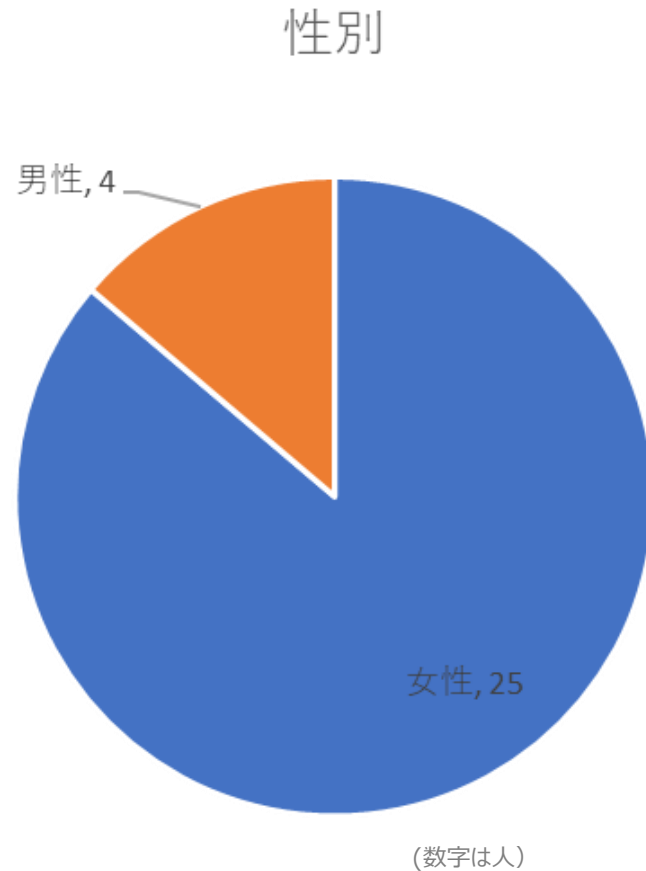
アクセス日数	人数	
0日	1人	非集計対象者 3人
1日	1人	
22日	1人	
29日	1人	集計対象者 29人
30日	2人	
31日	26人	
総計	32人	

紙での記録38人のうち、2人は記録の返送がなされなかったため、返送のあった36人を集計対象とした。

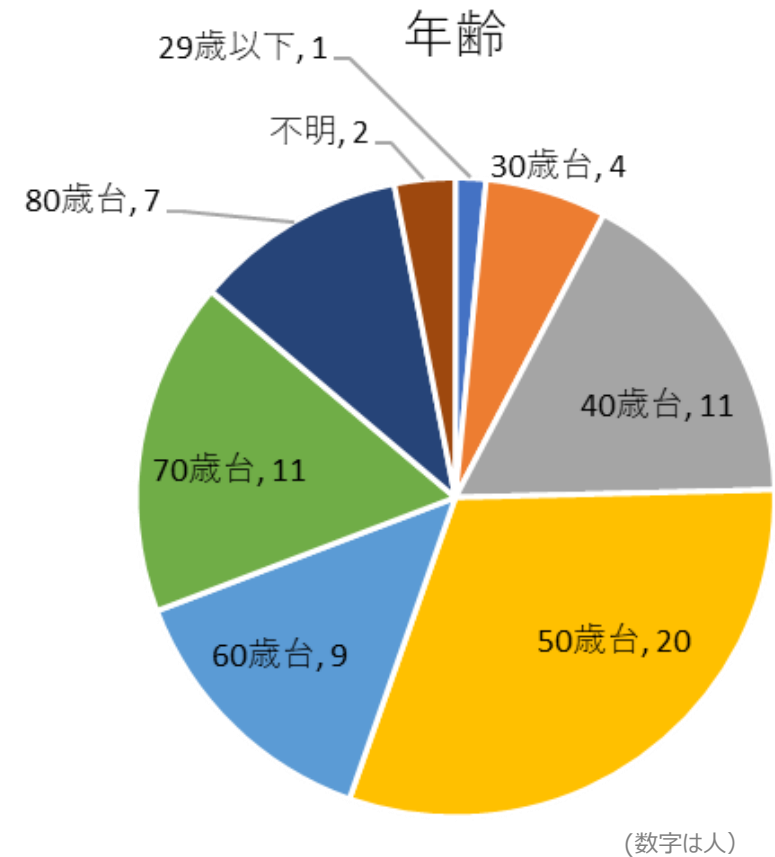
合わせて**アプリ29人、紙36人、合計65人**を当レポートでの集計対象とした。

Ⅱ. 集計結果 1.対象者属性

- 性別は、アプリ対象者29人中、女性が25人と9割近くを占めた。
- 年齢は、集計対象者65人中、50歳台が最も多く20人、次いで40歳台・70歳台が各11人であった。若年層から高齢者層まで幅広い参加があった。

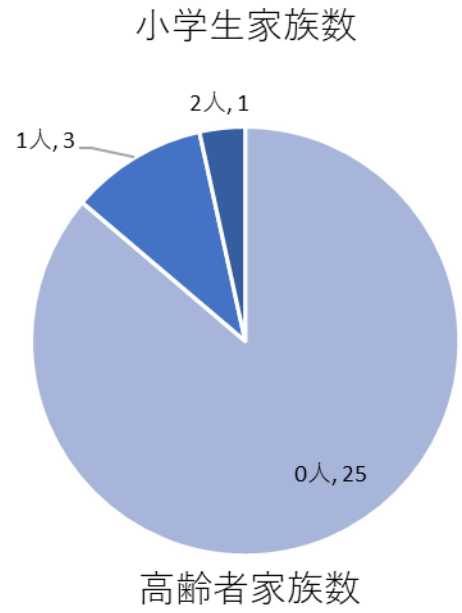
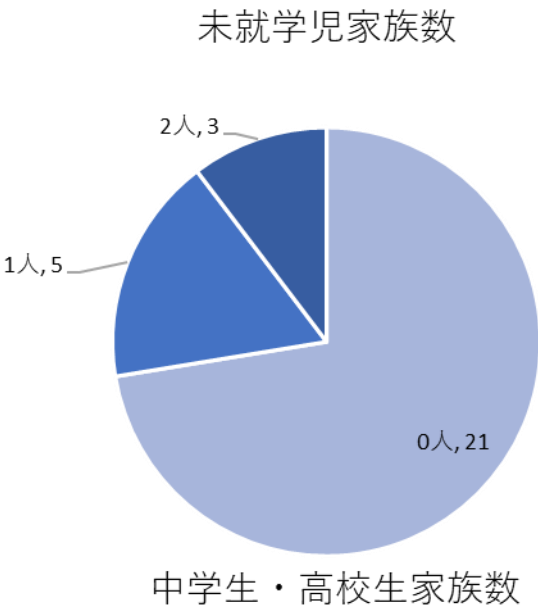
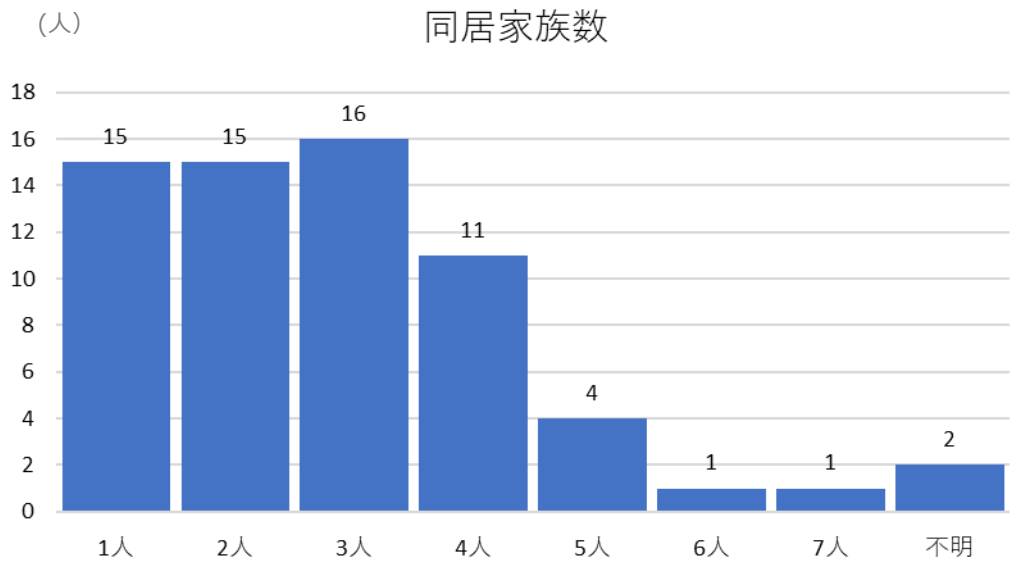


※紙での記録者は性別は聴取せず

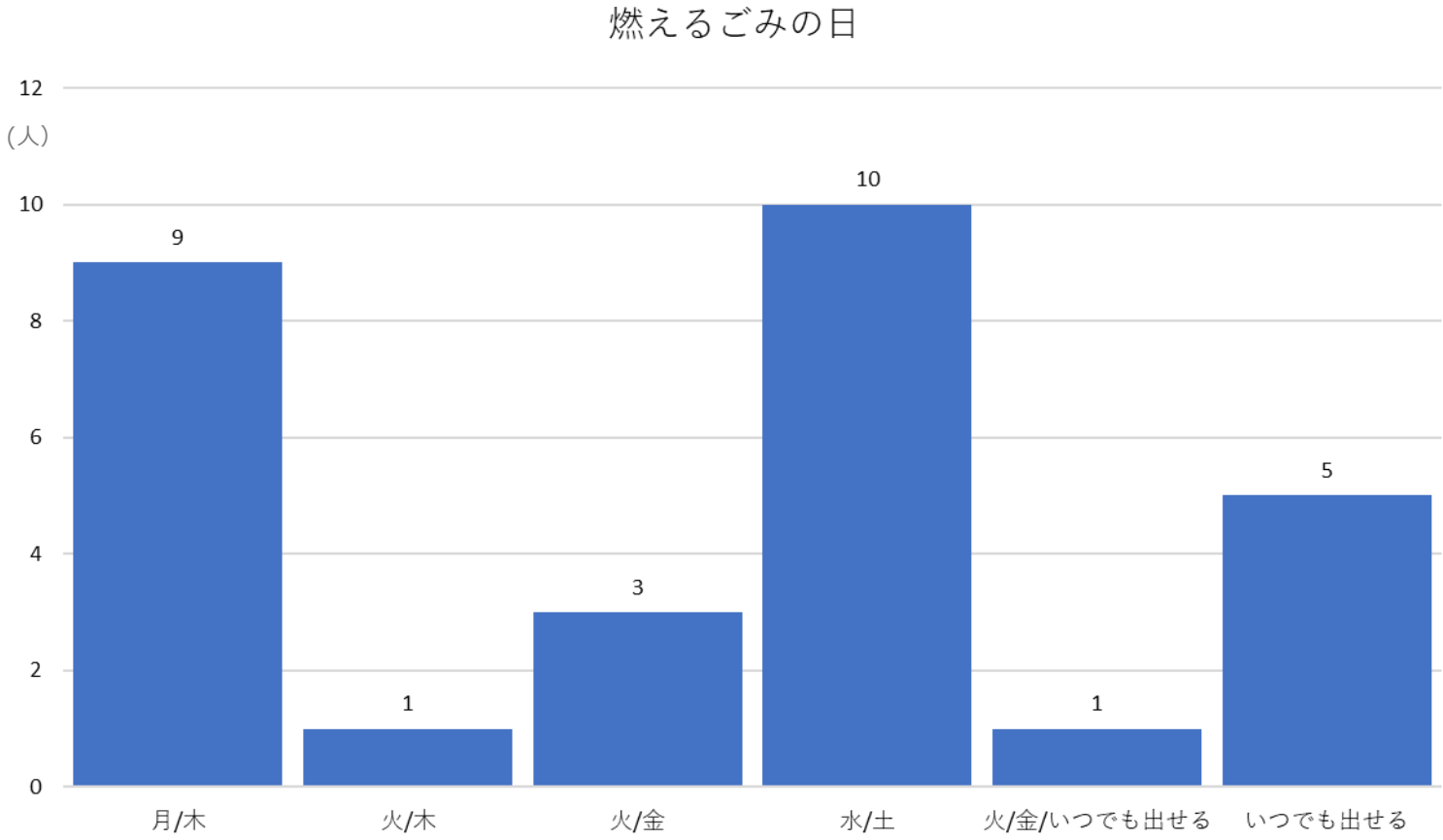


- 同居家族数は「3人」が最も多く16名、以下、「1人（独居）」「2人」が同数で各15名。
- アプリ対象者29人中、同居家族に未就学児がいる人は8人、小学生は5人、中高生は2人、高齢者は4人であった。

※紙での記録者は同居家族内訳は聴取せず



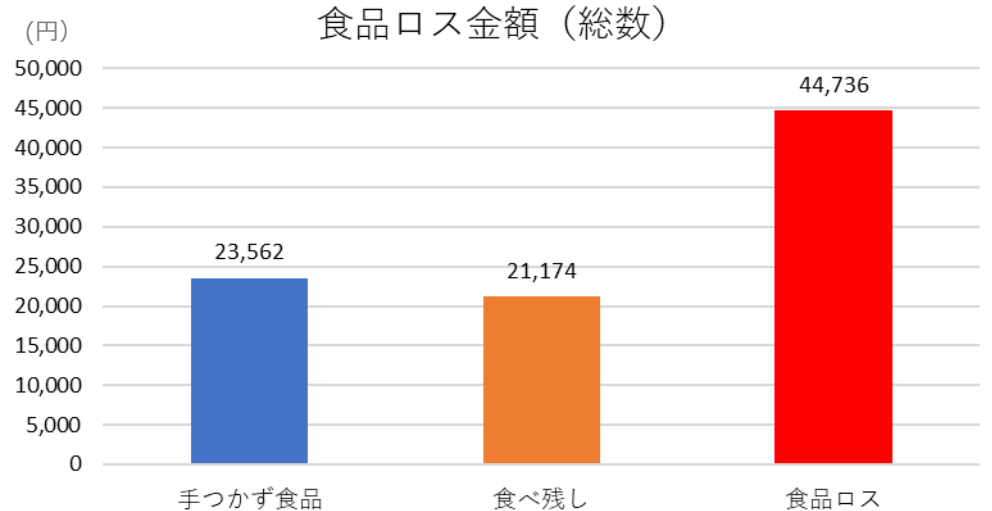
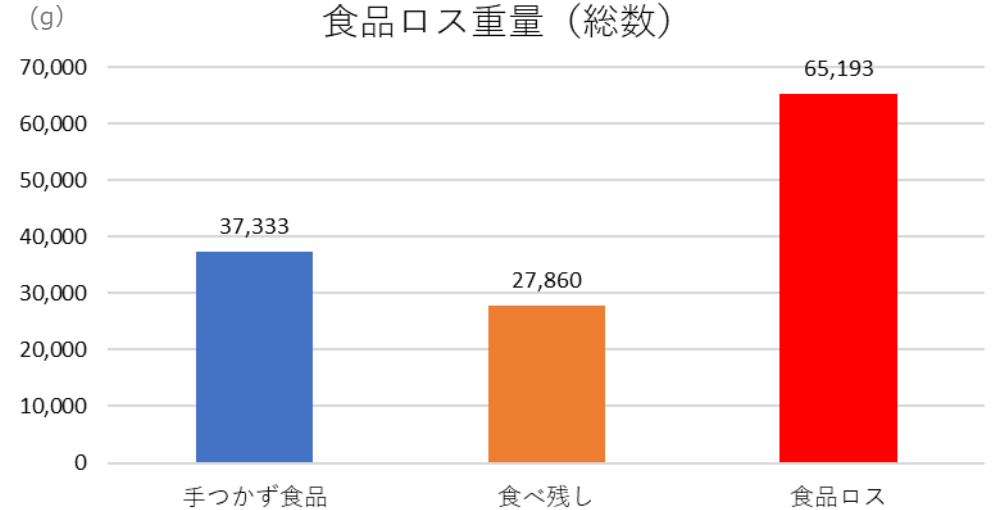
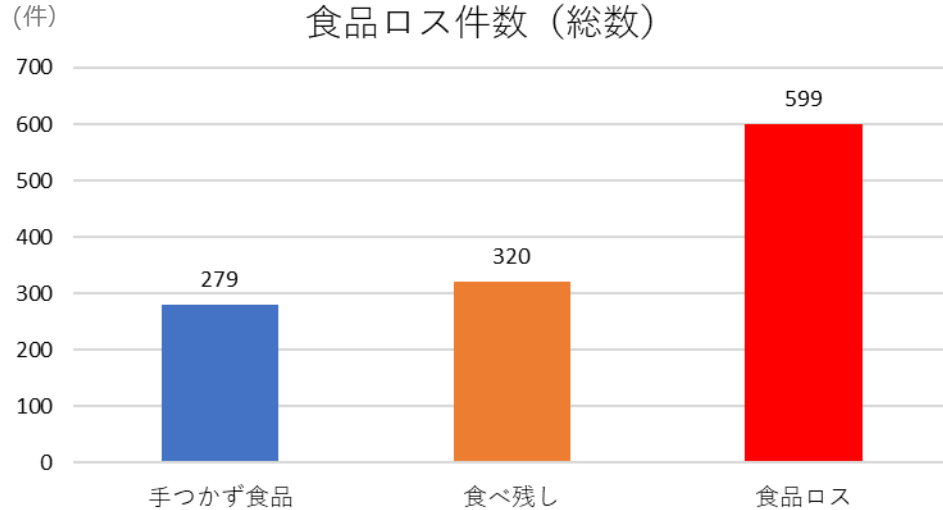
- アプリ対象者29人中、燃えるごみの日は、「水／土」が最も多く10人、次いで「月／木」9人となっている。「いつでも出せる」も5人いる。



※紙での記録者は燃えるごみの日は聴取せず

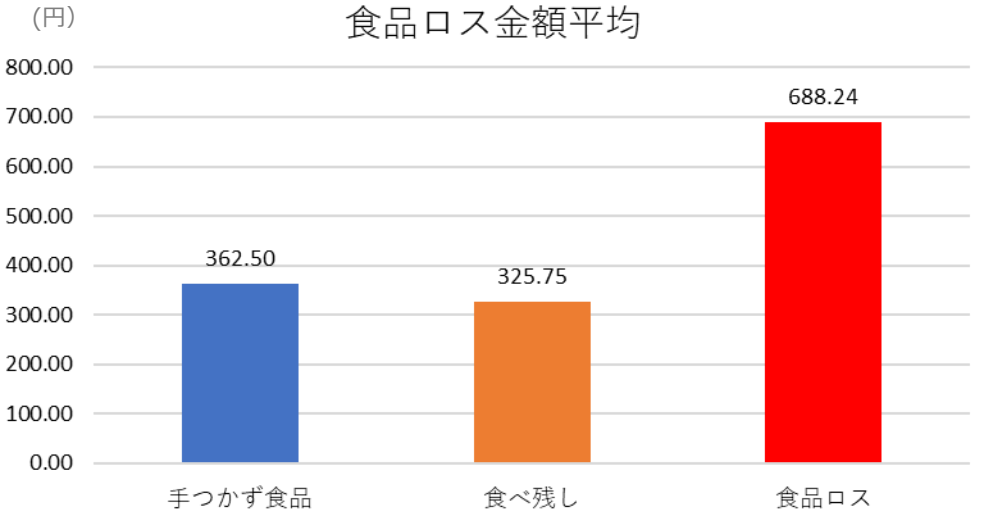
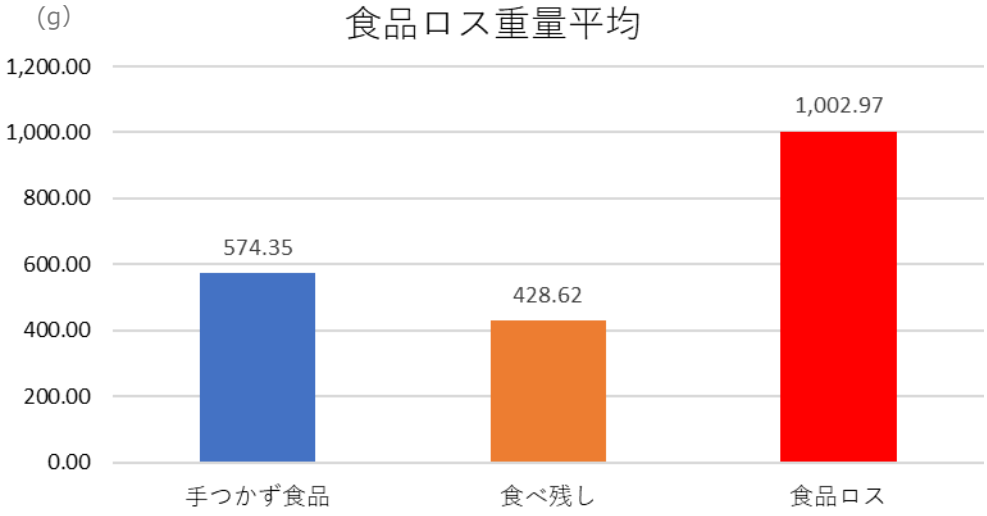
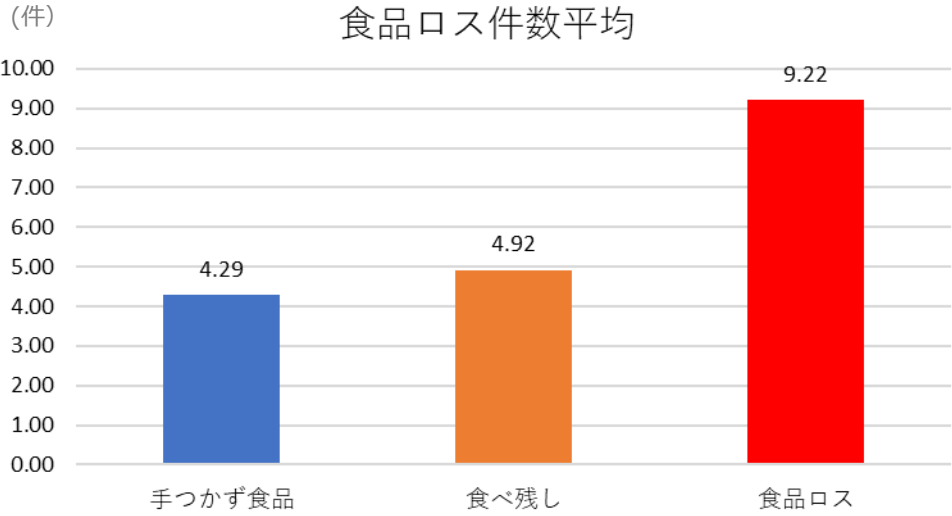
2.期間中の食品ロス排出量__総数

- 1ヶ月間の食品ロス排出量は、件数では手つかず食品279件、食べ残し320件で、食品ロス合計で599件であった。
- 重量では、手つかず食品が約37kg、食べ残しが約28kgで、合計約65kgであった。



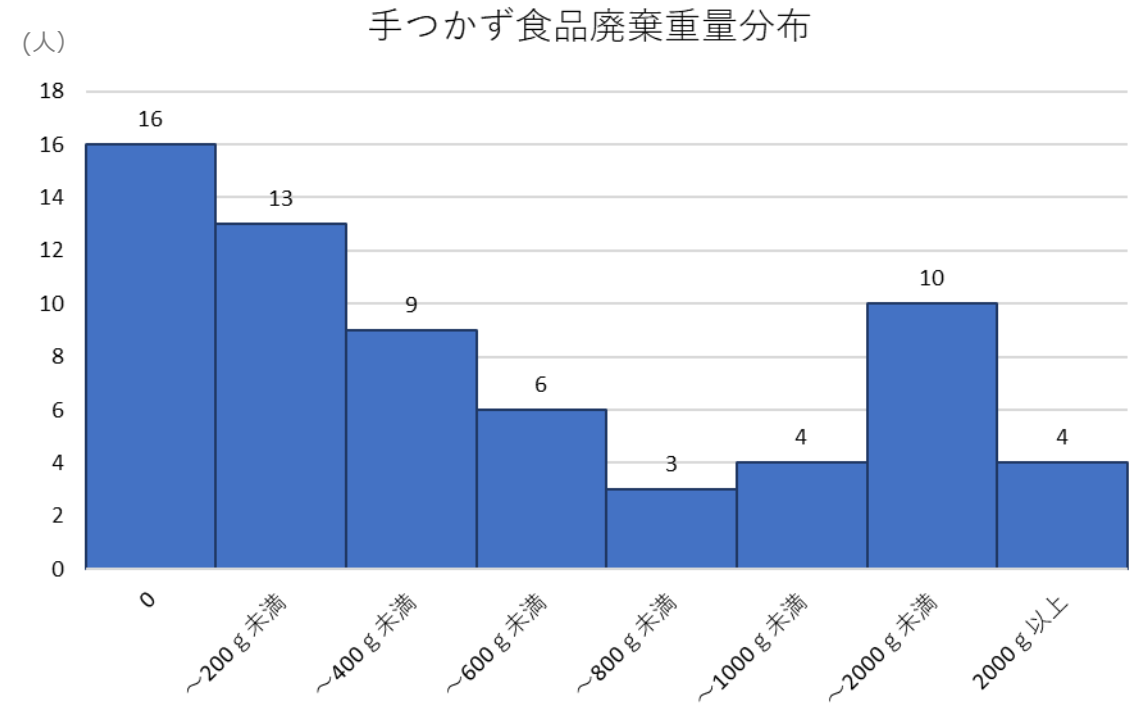
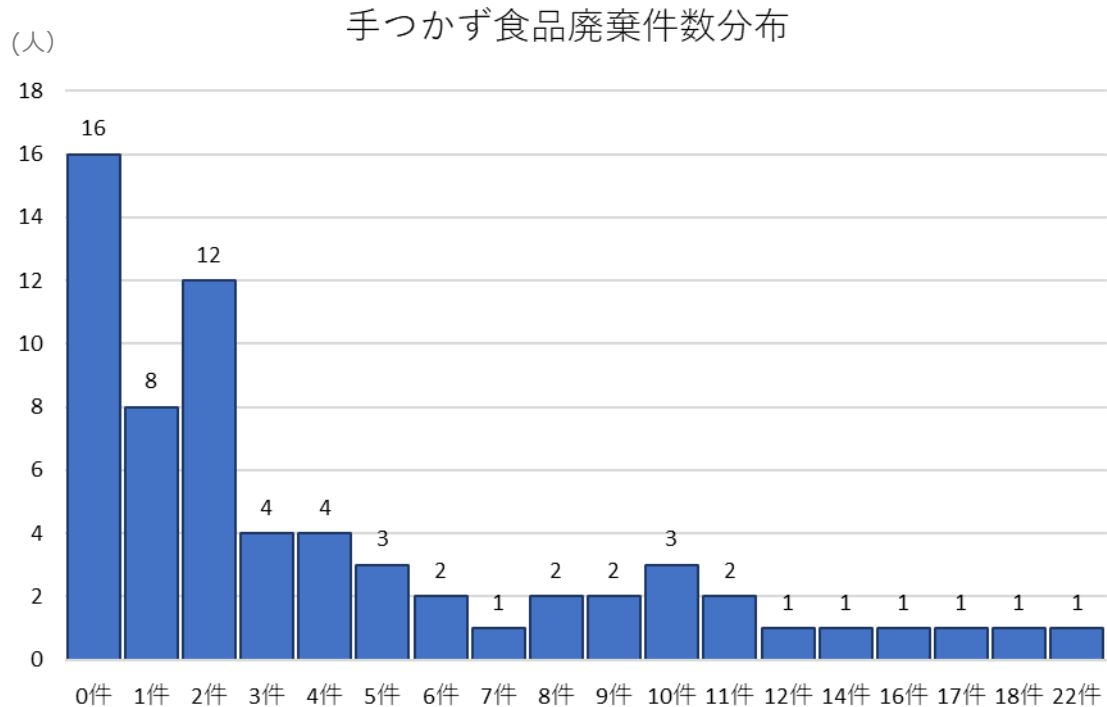
1世帯あたり平均

- 1ヶ月間の1世帯あたりの食品ロス排出量は、件数で9.22回、重量で約 1 kg、金額換算で688円であった。



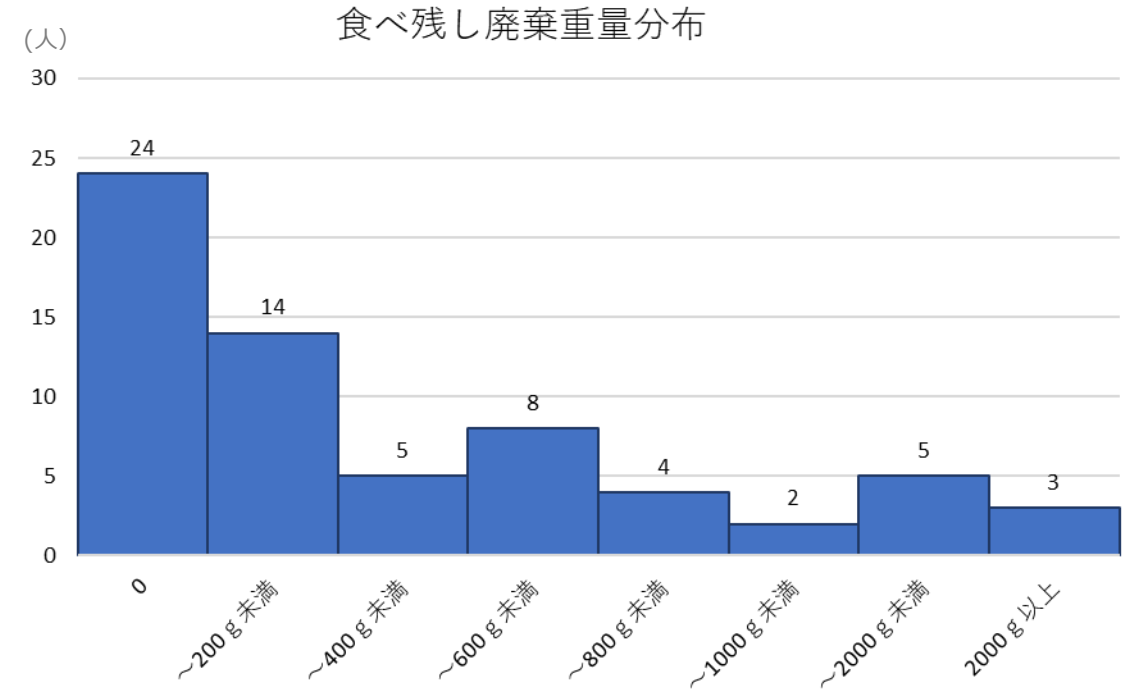
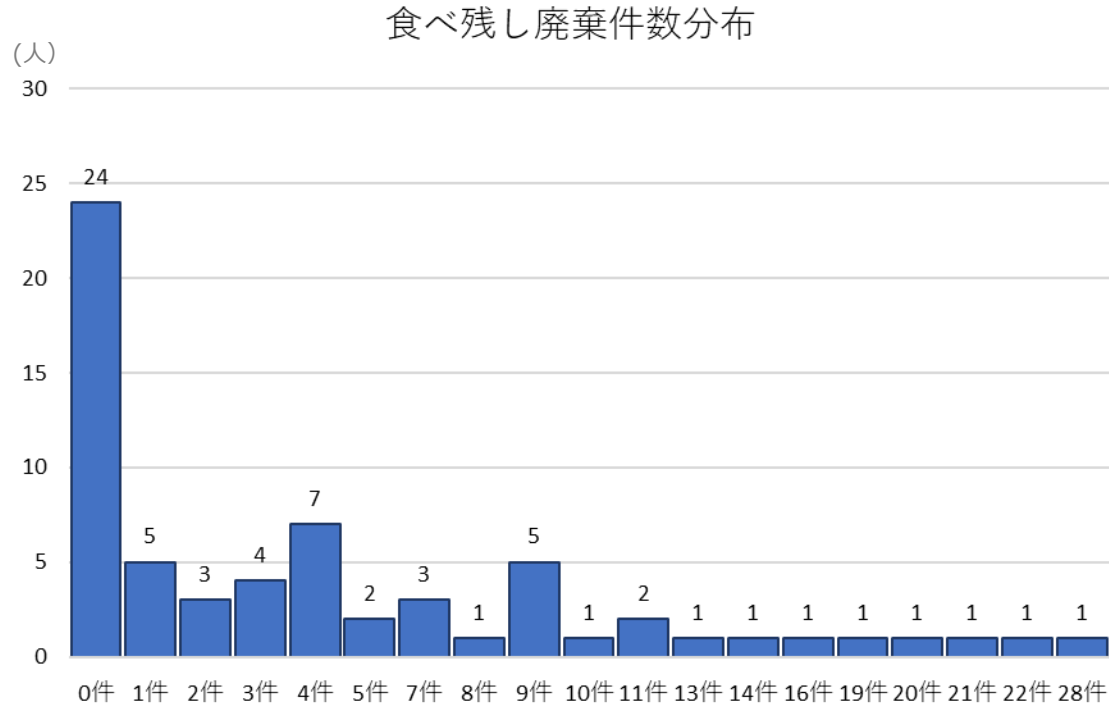
手つかず食品廃棄件数・重量分布

- 手つかず食品廃棄件数分布は、「0件（手つかず食品廃棄はなかった）」が16人、「2件」が12人、「1件」が8人で、最も多く廃棄した人は「22件」（1人）であった。
- 重量では、「0より多く200g未満」が13人、「200～400g未満」が9人と廃棄重量が多いほど人数が減っていく傾向だが、「1000～2000g未満」も10人いる。



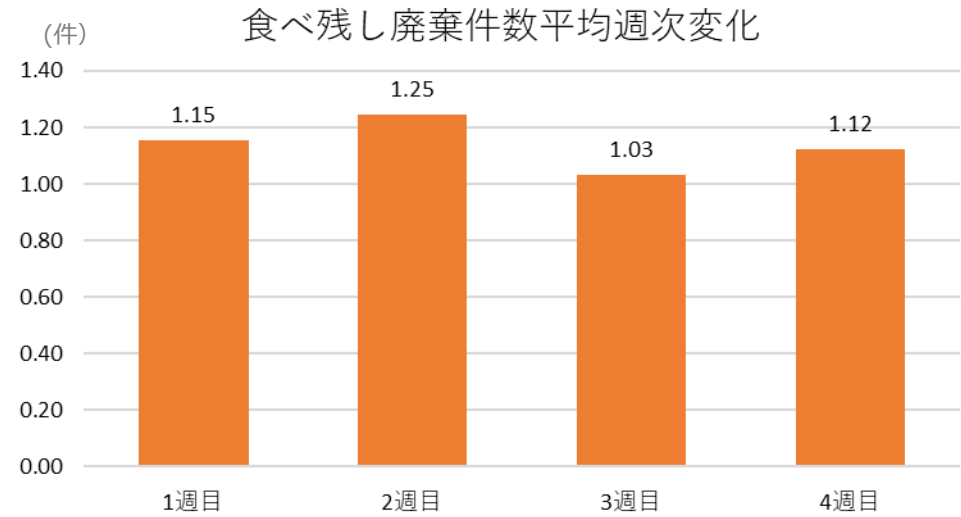
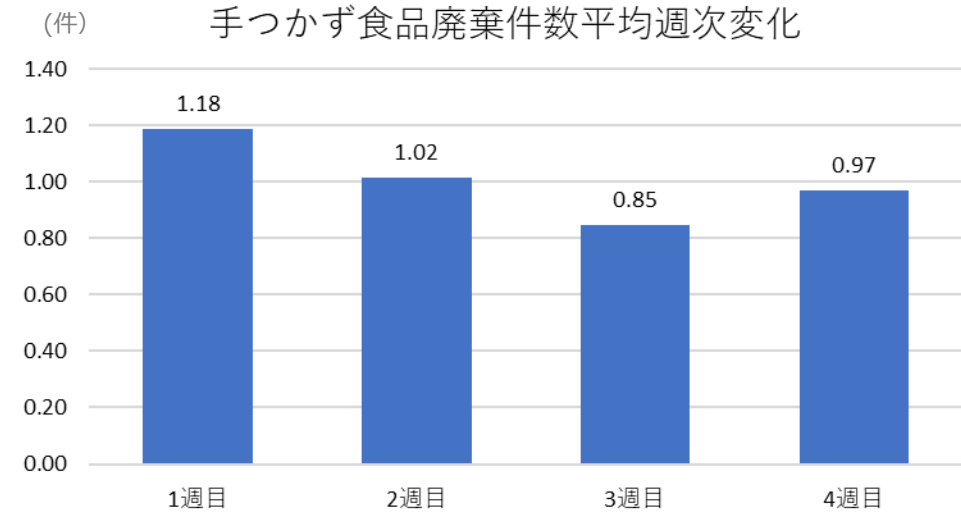
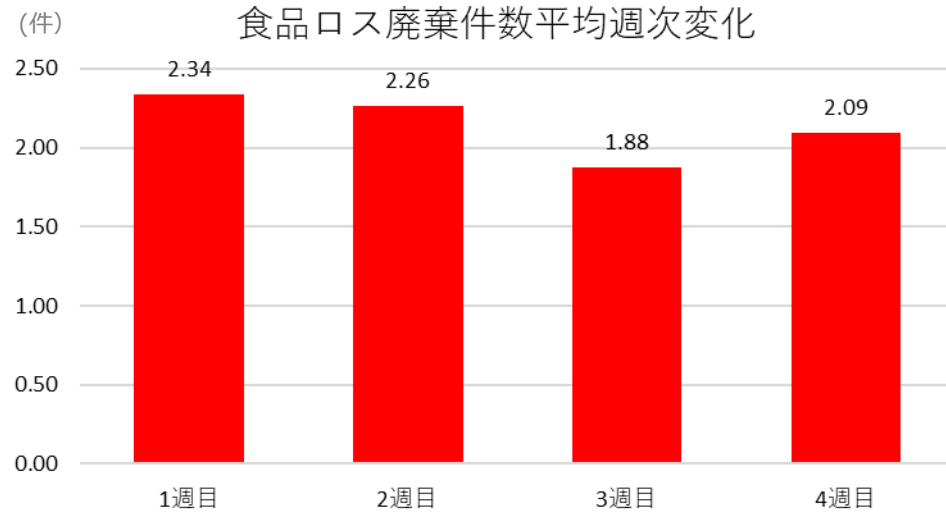
食べ残し廃棄件数・重量分布

- 食べ残し廃棄件数分布は、「0件（食べ残し廃棄はなかった）」が24人、「4件」が7人、「3件」「9件」が各5人で、最も多く廃棄した人は「28件」であった。
- 重量では、「0より多く200g未満」が14人、「400～600g未満」が8人、「1000～2000g未満」が5人であった。



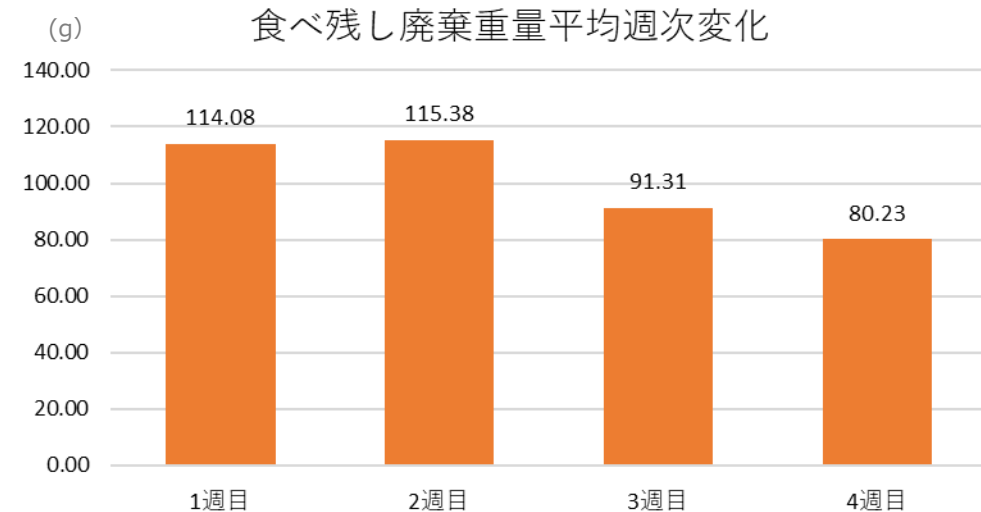
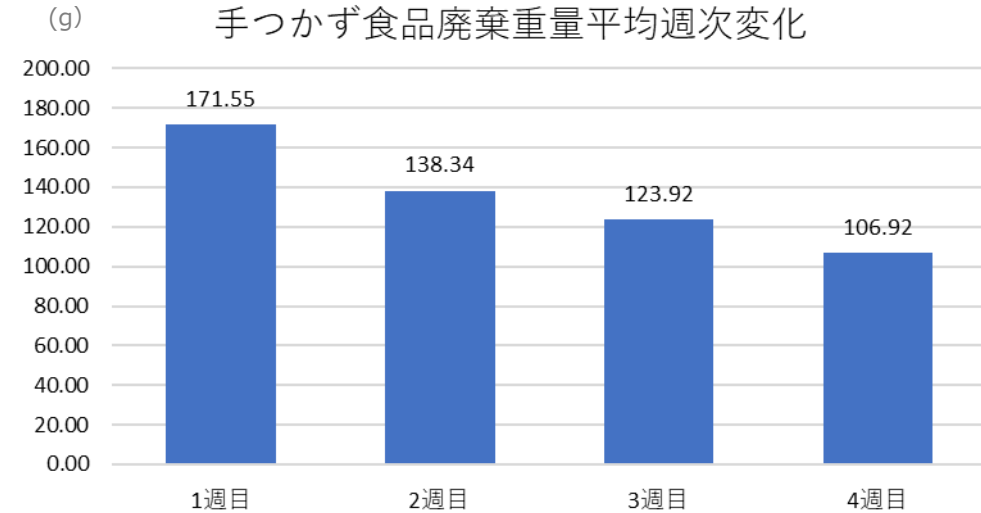
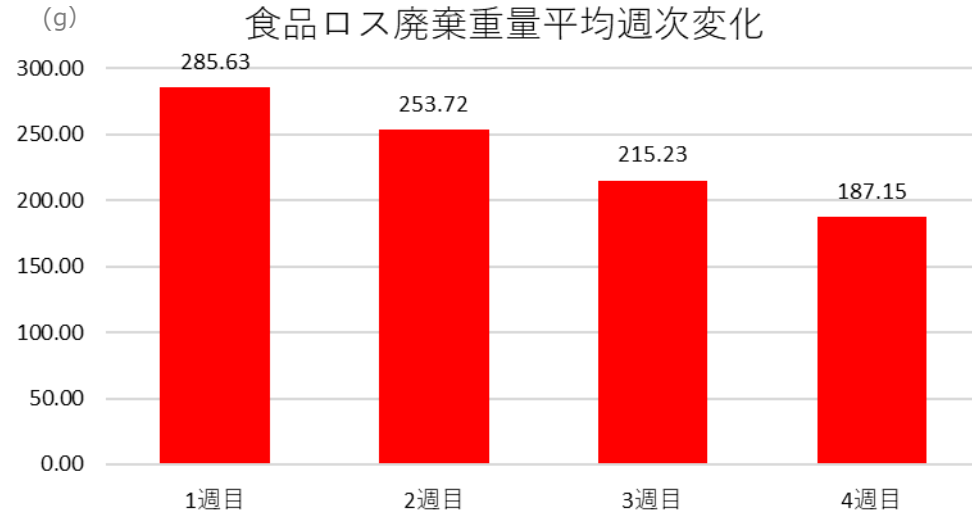
1世帯平均の食品ロス排出件数__週次変化

- 1世帯平均の食品ロス排出件数の週次変化は、1週目2.34件、2週目2.26件、3週目1.88件と漸減していたが、4週目は2.09件とやや増加した。
- 手つかず食品は1～3週目までは漸減傾向であったが、4週目にやや増加。食べ残しは週によって増減を繰り返している。



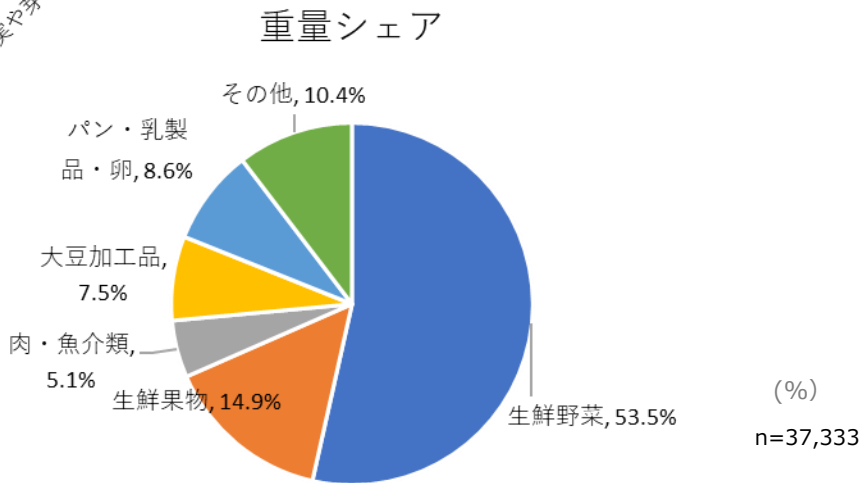
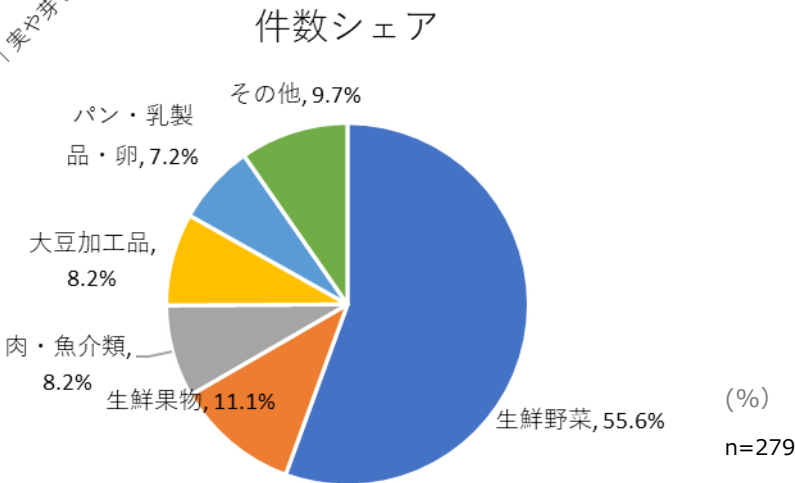
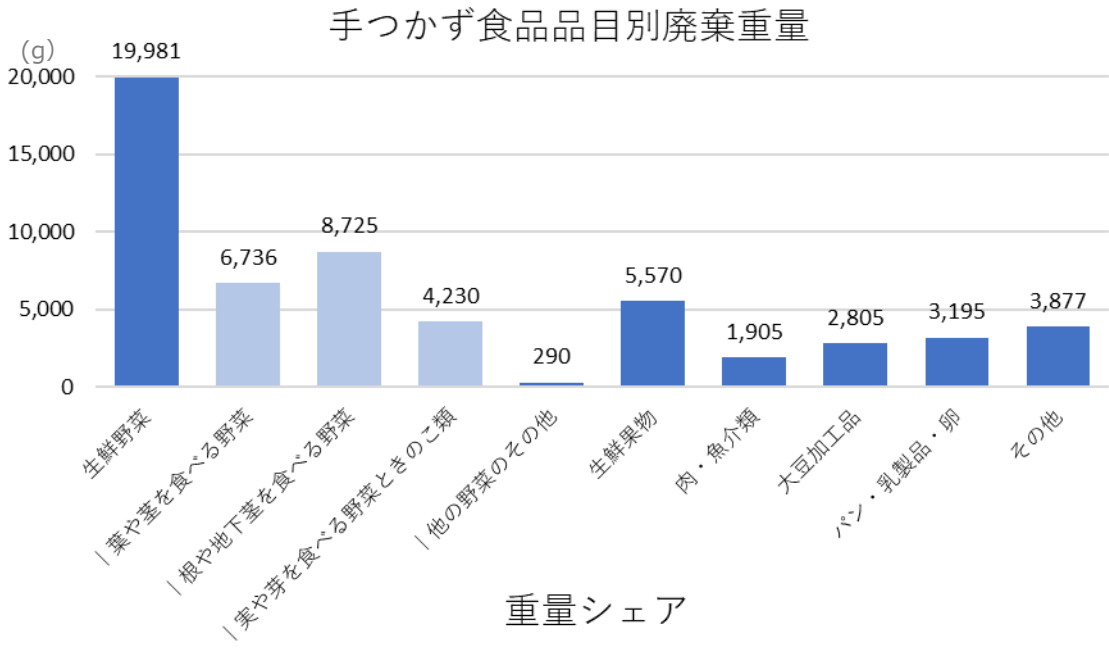
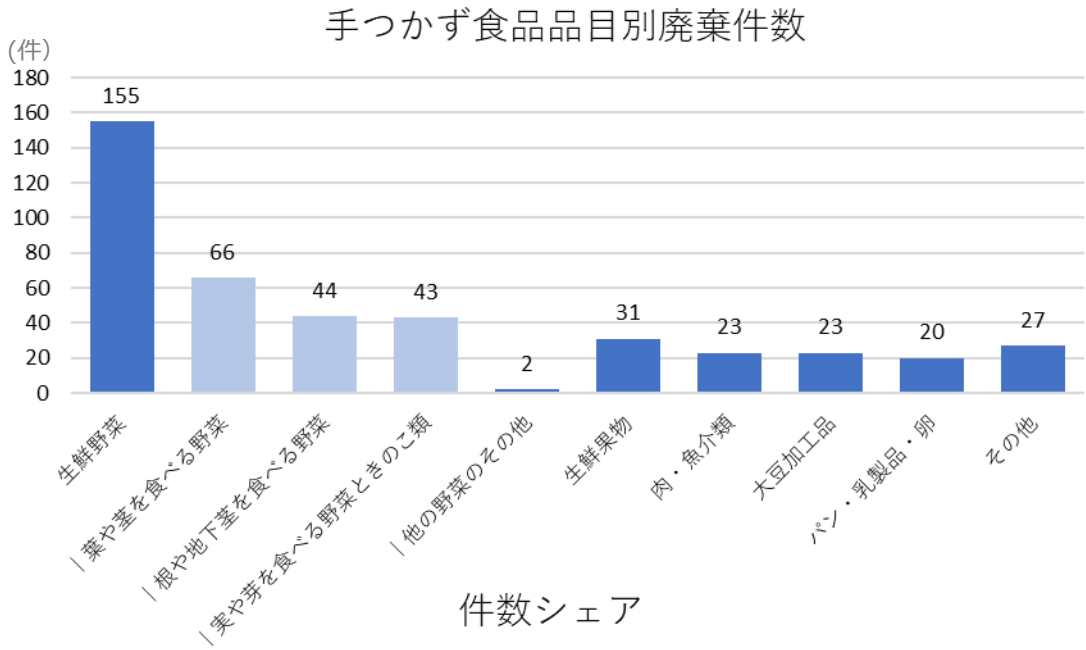
1世帯平均の食品ロス排出重量__週次変化

- 1世帯平均の食品ロス排出重量の週次変化は、1週目約286gから4週目約187gと漸減している。
- 手つかず食品は1週目から4週目まで漸減、食べ残しは2週目にやや増加したが3週目以降は漸減している。



手つかず食品廃棄の品目別分布

- 手つかず食品廃棄の品目（大カテゴリ）別件数では、「生鮮野菜」が155件と最も多く、「生鮮果物」31件が続いている。重量では、「パン・乳製品・卵」が3番目に多くなる。



手つかず食品廃棄の品目別分布

- 手つかず食品廃棄の品目別件数では、「キャベツ」が15件と最も多く、「もやし」13件、「にんじん」12件、「ねぎ」11件、「豆腐」10件が続いている。重量では、「じゃがいも」が3kg、「キャベツ」が2kgを超えた。

(g)

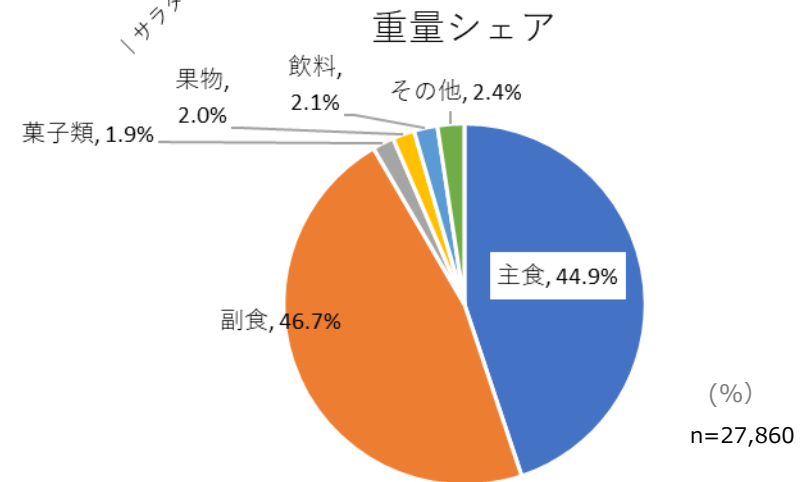
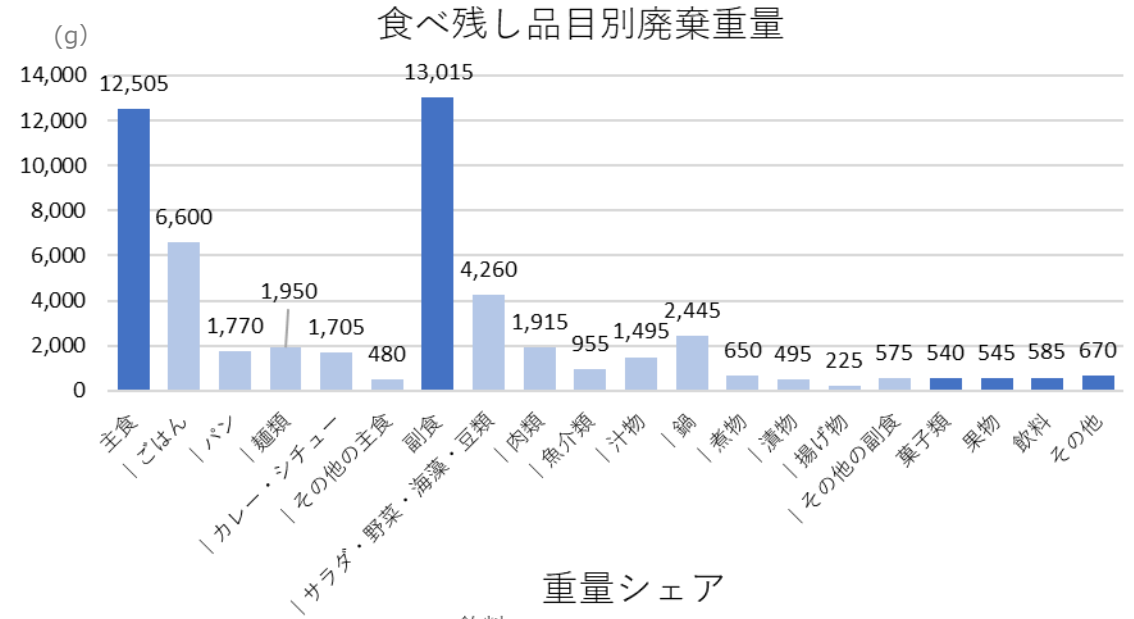
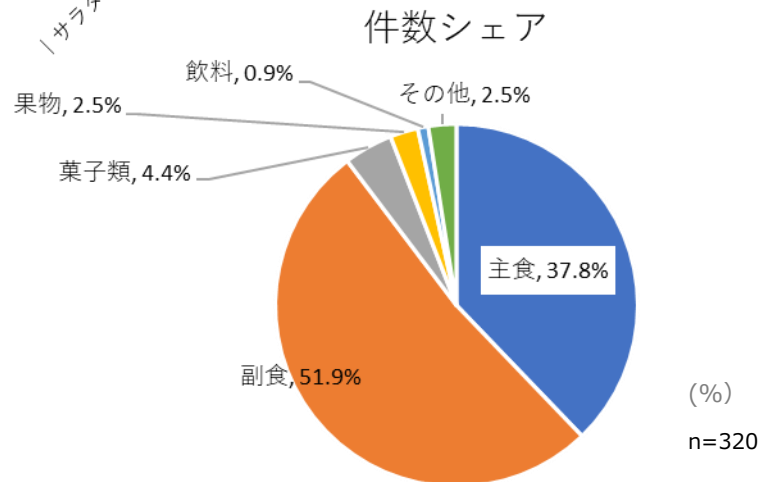
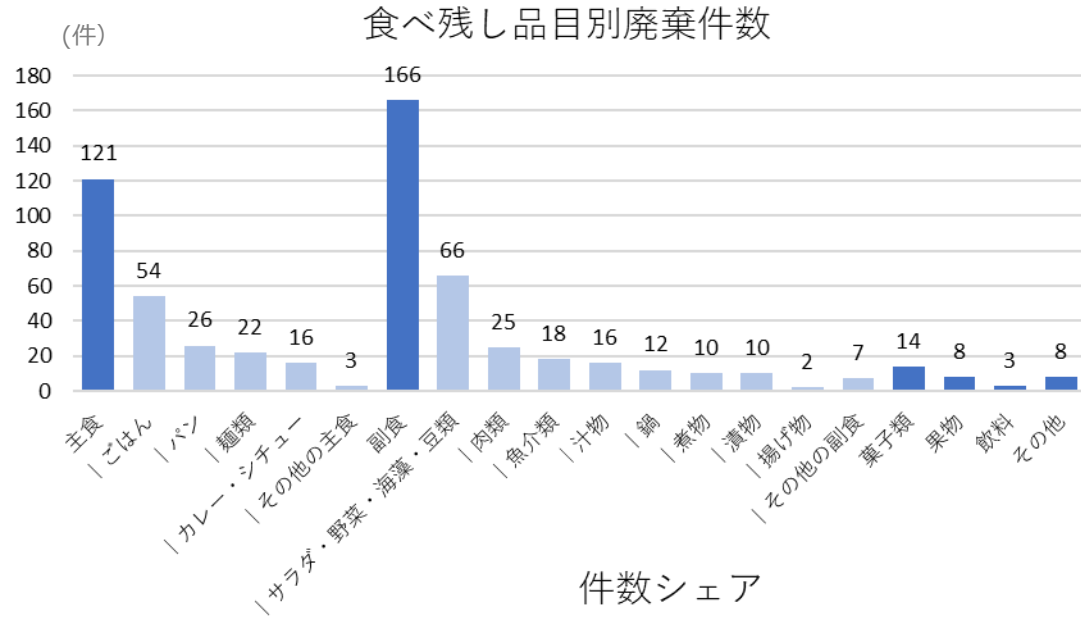
品目	件数	重量
キャベツ	15	2,350
もやし	13	1,560
にんじん	12	1,900
ねぎ	11	520
豆腐	10	1,700
じゃがいも	9	3,270
なす	9	1,070
みかん	8	1,310
りんご	7	1,070
食パン	7	925
レタス	7	360
バナナ	6	1,280
だいこん	6	1,260
調味料	6	222
さといも	5	740
たまねぎ	5	690
鶏肉	5	630
油揚げ・厚揚げ・がんもどき	5	480
他の果物	4	1,230
かぼちゃ	4	1,050
小松菜	4	865
れんこん	4	690
卵	4	595
他の大豆製品	4	410
他の野菜のその他	4	350

品目	件数	重量
納豆	4	215
他のパン	4	210
きゅうり	4	180
牛乳	3	1,280
ほうれんそう	3	550
柿	3	450
アボカド	3	385
しめじ	3	275
鮮魚	3	225
えのきたけ	3	195
ピーマン	3	190
はくさい	3	180
豚肉	3	140
他の葉茎菜	3	90
大葉（青じそ）	3	21
ハム	2	265
ちくわ	2	215
野菜の漬物（キムチ含む）	2	215
他のきのこ	2	150
ミニトマト	2	130
生しいたけ	2	110
他の塩干魚介	2	100
さつまいも	2	50
しょうが	2	30
とうがん	1	175

品目	件数	重量
ヨーグルト	1	175
ゴーヤー	1	150
他の葉や茎を食べる野菜	1	150
ごぼう	1	125
キウイフルーツ	1	120
ソーセージ	1	90
オレンジ	1	80
まいたけ	1	70
他の加工肉	1	60
アスパラガス	1	50
しらす干し・ちりめんじゃこ	1	50
焼豚	1	50
他の生鮮肉	1	50
ニンニクの芽	1	30
レモン	1	30
貝類	1	30
オクラ	1	10
バター	1	10
ブロックリー	1	10
油脂	1	10
その他食品	18	3,430
総計	279	37,333

食べ残し廃棄の品目別分布

- 食べ残し廃棄の品目（大カテゴリ）別件数では、「副食」が166件と最も多く、「主食」が121件で続く。小カテゴリでは、「サラダ・野菜・海藻・豆類」66件、「ごはん」54件が目立っている。
- 重量では「副食」「主食」が拮抗する。小カテゴリでは、「ごはん」が他を圧倒。



食品ロス量廃棄機会数の世帯分布と廃棄重量分布の関係

- 1か月の食品ロス件数が13件以上の層は65人中19人（29%）であるが、その層からの食品ロスで全体の7割強を占めている。

